



打ち水効果で、地球沸とう化を防ぐ!!

●調べるきっかけ

私は、去年エコチャレンジで、レジ袋をさくげんすると、CO₂がどれくらい減らせることができるかというのを実験しました。そこから地球温暖化について興味をもち、「なぜこんなに毎日暑いのだろう?」「少しでも涼しくすごせることはできないのかな?」といつも考えていました。夏休みにおばあちゃんの家に行くと家の前がぬれていました。「雨がふったの?」と聞くと「打ち水だよ。打ち水をするとうるむくなるよ」と教えてくれました。それを聞いて、自分でも打ち水をやってみたくなりました。どれくらい気温が下がるか調べてみようと思いました。

●実験方法

①朝7時に気温を測り、お風呂の残り湯を地面にまく。

●実験の様子



②1時間後、2時間後の気温を測る。

③夕方4時に気温を測り、お風呂の残り湯を地面にまく。



④②と同様にして気温を測る。

●実験の予想

朝と夕方どちらも1時間後は温度が下がるけど2時間後は水が全部じょうろで上がると思う。





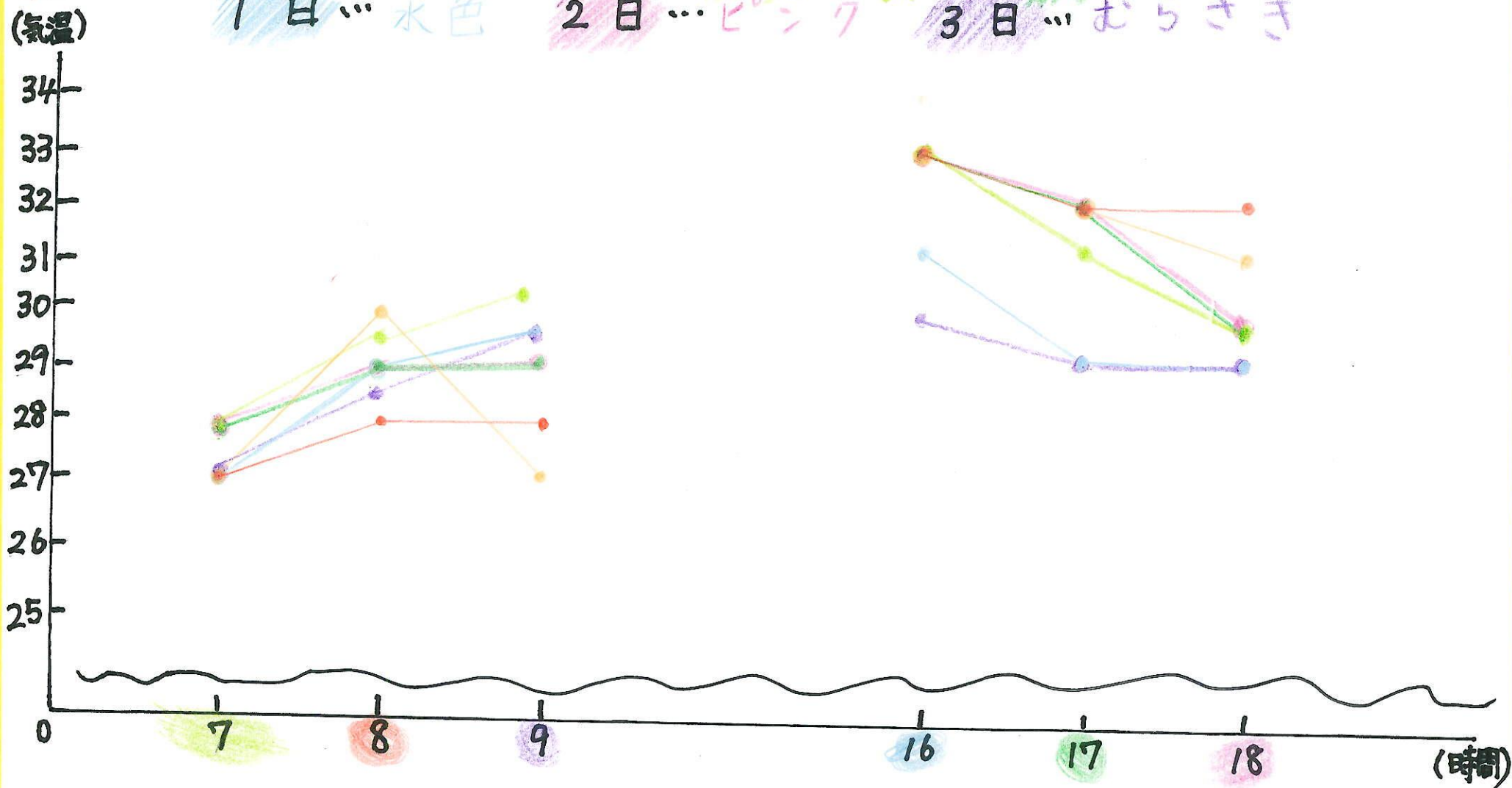
● 実験の結果

残り湯をまいた時の気温(℃)

日づけ	7/28	7/29	7/30	7/31	8/1	8/2	8/3
天気	はれ	はれ	はれ	くもり	はれ	はれ	はれ
まく前 7:00	27	27	28	28	27	28	27
1時間後 8:00	28	30	29.5	29	28	29	28
2時間後 9:00	28	27	30	29	29	29	29
まく前 16:00	33	33	33	33	31	33	30
1時間後 17:00	32	32	31	32	29	32	29
2時間後 18:00	32	31	30	30	29	30	29

○ 結果のグラフ

28日...赤 29日...オレンジ 30日...黄緑 31日...緑
1日...水色 2日...ピンク 3日...むらさき



● 考察

朝に残り湯をまくと、1時間後も2時間後も気温が同じか、高くなった。しかし夕方に残り湯をまくと、時間がたつにつれて気温が低くなった。このことから、夕方に残り湯をまくと、打ち水効果が高いと考えた。



●まとめ

インターネットで打ち水を調べてみると、日陰にまいたり、風通しの良い場所ですとより効果があると書いていた。
またおばあちゃんがおふろの残り湯のかわりに、米のとき汁や雨水をためておいたものも使えると教えてくれて、水をむだにせず、涼しくすごすことができ、とてもエコだなあと思った。

○感想

今回の実験でお風呂の残り湯を何回もはこぶのが重たかった。でも残り湯をまくのは楽しかった。インターネットには、エアコンの室外機の周辺に打ち水をすると、エアコンの運転効率率が上がり、消費電力の削減にもつながるらしい。と書いていた。打ち水、いろいろなところでエコなんだなあと思いました。
最後に、これからの地球のために自分ができることを少しずつ取り組めたらいいなと思った。